

プレス技術で 電子部品用リードピンを製造

株式会社 西本電器製作所

リードピン加工

マルチフォーミング
マシンによる
多彩な加工が可能。

- ヘッダーピン
- シルクハットピン
- テーバーピン
- 圧入用ピン
- ダブルツバピン
- ツブシピン
- スタンドオフピン
- クランクピン
- 十字ピン
- 角ピン・コネクタピン



熟練の技でマルチフォーミングプレス技術を使いこなし、
多品種少量生産に迅速対応できる技術提案型企业

微小化・微細化する電子部品用リードピン

リードピンは、半導体の高集積化や電子部品のコンパクト化に伴い、ますます、微細化・微小化する傾向にある。ユーザからの要求も量産品から特注品へ、短納期へと技術・品質の向上が求められている。

多品種少量生産に対応した技術提案力

株式会社西本電器製作所は、プレス、切削加工、ヘッダーなど精密加工技術（機械・金型・材料）に必要な設備を自社保有している。このため、ユーザーニーズに柔軟に対応して、臨機応変に切削加工からプレスに置き換えることができるなど微細加工プロセスを提案できる能力があり、製造プロセス技術に特化した強みを有している。

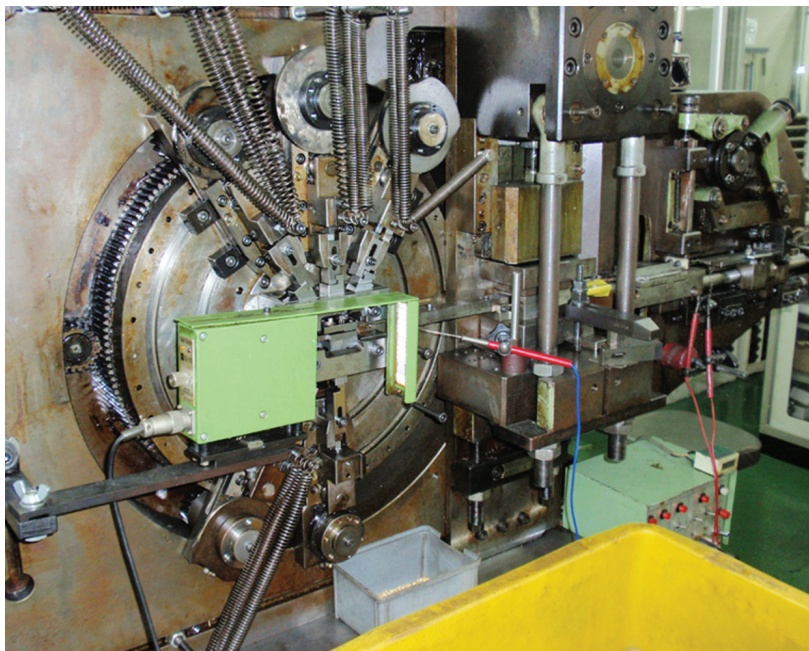
一貫生産で短納期・低コストに対応

窒素雰囲気下での水素還元電気炉を保有しており、ヘッダーピン等への銀ろう付け加工ができる。従って材料から出荷まで自社で一貫生産し、短納期での対応が可能である。また、メッキ以外の加工は自社内で製造できるため、外注費用が発生せず低コストでの生産対応が可能である。

製造現場を支える戦略的人材養成

同社では、特に主力設備であるマルチフォーミングプレスでは技術者の工夫次第で様々な製品を製造できることから、技術者の技能が製品品質に与える影響が大きい。

このため、会社の経営方針として、社員教育など技能継承を戦略的に取り組んでいる。



マルチフォーミングプレス

更なるモノづくりの研究開発を目指す

同社は長年の研究開発により蓄積された応用技術を活用し、次世代の市場の要求に応えるべく技術革新を模索し、大学・研究機関との共同研究を実施するなど更なる研究開発に積極的に取り組んでいる。時代にあった最良のモノづくり活動を常に心がけその活動を通じて社員の成長と社会の進展への貢献を目指している。

株式会社 西本電器製作所



代表取締役社長 西本 栄三

〒 630-8452
 奈良県奈良市北之庄西町 2-6-5
 ■TEL ■0742-62-1088(代表)
 ■FAX ■0742-62-1066
 ■URL ■<http://www.nisimotodenki.com/>
 担当 総務部 松本芳孝